Rotary District 2710

2019-2020 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR's MONTHLY LETTER

vol. 10

2020.4

2019-20年度 国際ロータリー
第2710地区 ガバナー

畫田 眞三

新型コロナウイルス感染症の猛威により、国内のロータリー関連行事の見直しがされています。3月3日現在、3月6日福岡で予定されていた日台親善会議が延期され、9地区参加で毎年長野県で行われる青少年交換学生参加の「白馬スキーツアー」や、大阪南部・和歌山地区や神奈川県でのIMが一部中止となりました。また東京南部では太平洋諸島からの飛行機便の都合によるキャンセルや台湾の姉妹地区からもキャンセルが出て、行事内のビュッフェ形式の懇親会は中止になり、プログラムを大幅変更し実施されました。

地区内でも、2月29日開催予定だったグループ3のIMを皮切りに6つ（8グループのうち合同開催が2グループある）のIMが中止になりました。PETSも一堂に会する方式を変更しての実施となりました。インターアクトの韓国訪問・姉妹地区である第3690地区の地区大会（現在、開催可否について検討中）への参加取りやめ等々、各種会合を中止せざるをえない状況が続いています。政府方針を受けて、感染を防止するため真剣な議論の結果であり、今後の感染拡大を想定しての対策です。当地区では幸い執筆時点では感染者は出ていませんが、注意するに越したことはありません。

今後の展開によっては、危機管理委員会の議論を経て、行事の見直しを進めて行く場合もあるかと思いますが、皆様のご理解を宜しくお願いします。

全国RYLA（ROTARY YOUTH LEADERSHIP AWARD）研究会が2月9日佐賀市で開催され、参加しました。このプログラムは「若い人たちが新しい友人をつくり、楽しみながらリーダーシップのスキルを磨く」とされています。2016年10月、福山RC主管でRYLAが開催された際、クラブ理事をしておりましたので、スケジュールや大まかな趣旨は理解していましたが、当時のスタッフは天野肇実行委員長（パストガバナー）、目崎省悟副実行委員長（福山ロータリーEクラブ2710／今年度地区ローターアクト委員長）、吉川純弘副実行委員長（今年度地区青少年奉仕委員長RYLA担当）と言う強力布陣でしたので、ついていく立場でした。

今年度RYLAは来る5月23日&24日に広島市で開催されますので、今一度勉強しておこうと思い参加いたしました。次年度青少年奉仕委員長予定者の西村健治氏（防府RC）と次年度RYLA主管予定の尾道RCの鍛冶川孝雄氏が一緒でした。ご両名とも次年度RYLAに備えての研究会参加です。

本プログラムは全ての地区で開催されている訳ではありませんが、熱心な第2680地区（兵庫県）では毎年同じ場所（小豆島余島）の神戸YMCAの施設で3泊4日研修がされています。ですから議論は深まり、参加者OB・OG同志の学友会も活動しています。当地区でもローターアクト会員や米山奨学生には積極的参加を呼び掛けていますので、彼らには複数回参加の資格があり、彼らを中心にRYLAのOB・OGが集う学友会の設立も可能でしょう。

また全国RYLA研究会も長年、兵庫県で開催されていたものを各地区の活動をレベルアップしたいとの思いから、初めて兵庫県から佐賀市に移し取り組んだと聞きましたし、次回は山形市です。

今年度のRYLAは地区内でも模範的な広島RC・広島中央RCの両クラブが共同主管され、米国人を交えての1泊2日です。新しい試みもあり、多くの参加者を期待しています。

ロータリーの未来を語り、礎を築こう

【contents】

ガバナーメッセージ ・・・・・・・・・・・ 1
母子の健康月間
国連と国際ロータリーの SDGsからの提言 ・・ 2
青少年交換中四国3地区
合同オリエンテーション報告 ・・・・・・・・ 3
[グループ1]インターシティミーティング報告・・ 4
[グループ4]インターシティミーティング報告・・ 5
[グループ8]インターシティミーティング報告・・ 6
会員増減 出席率 ・・・・・・・・・・・・・ 7
文庫通信 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
新会員紹介 物故者 ・・・・・・・・・・・・ 8
地区大会広告 ・・・・・・・・・・・・・・ 8

母子の健康月間
国連と国際ロータリーのSDGsからの提言

2019-20年度 国際ロータリー第2710地区 パストガバナー 吉原 久司

本年度のマーク・ダニエル・マローニーRI会長は国際ロータリーと国際連合との関係強化を訴えられています。国連の運動の中で特に母子の健康、水と衛生、教育といった分野におけるロータリーの影響も高まり、現に国連の持続可能な開発目標(SGDs)は、2030年までの人類の行動目標とされ17の目標が設定され、ロータリーが掲げる重点項目と多くの部分で一致しています。

持続可能な開発を目指す為には、次世代を担う子供たちが健康に育つ環境を整備していくことが不可欠です。栄養失調や飢餓については小児死亡の約半数と地球規模での10%以上が母子の栄養不良を原因としています。また世界全体でみると、エイズ関連の死亡は依然として主要な死亡原因のひとつで、HIVに感染しながら治療を受けていない妊婦は、その子供に30%の確率で感染させてしまいます。治療なしでは、HIV感染した子供の50%以上が2歳を迎える前に亡くなっています。さらに貧困、疾病といった様々なショックに最も脆弱で深刻なリスクを抱えるのは子供たちです。その為、国際開発の議論の中では、子供が健やかに育つ環境を社会の中で作り上げ、人生の出発点が健康であり続けていく母子保健が重要なことは明白です。

母親側にも妊娠前(思春期)に家族計画を一層身近なものにすることで、人口増加に歯止めをかけ、かつ限りある資源の分配についても好ましい影響を及ぼすことになります。教育が必要で、避妊サービスや避妊法へのアクセスの促進が重要で、母子の死亡数の内最大40%はこうしたサービスへのアクセスを提供することにより回避することができます。妊娠の際の母子健康手帳の交付、更には妊婦検診、母親(両親)学級、助産、など教育を含めた幅広い重層的な援助が必要です。更には女性と子供をすべての形態の酷使、虐待、搾取及び暴力から守るための政策を促進させる必要があります。

具体的にはDDFを活用したグローバル補助金を利用した母子健康プロジェクトの受益者には以下の方々含まれています。

- **医療利用者**(プロジェクトの具体的な受益者)
  思春期の少女と出産可能年齢の女性
  妊娠期、出産時、及び産後の女性と少女
  5歳未満の幼児
  生後30日以内の新生児
  非伝染疾患の罹患リスクのある女性と乳幼児
  伝染病または感染症の罹患リスクの高い女性と乳幼児
- **医療インフラ**(一時医療の診療所、地区保健センター、地区及び地方保険センターや病院、可動式クリニック、専門治療を行う三次医療施設)
- **医療従事者**(地域医療の現場職員、熟練の助産師、地域医療看護師、医療技師、専門看護師と医師)

どうぞ地区ロータリー財団委員会に相談の上で、積極的に「母子の健康」に関連したグローバル補助金事業に参加をお願いします。

青少年交換中四国３地区 合同オリエンテーション報告

国際ロータリー第2710地区 2019-20年度 青少年交換委員長 河田 将人

2月8日（土）、9日（日）に倉敷シーサイドホテルにて中四国3地区（2710地区、2690地区、2670地区）合同で青少年交換学生のオリエンテーションが行われました。本年度は当2710地区が主管地区となっていたため、事前に他地区委員長、本地区委員会・事務局と連携をとりながら準備を進めて参りました。

当地区の畫田ガバナーをはじめ、2670地区の大島ガバナーにも出席していただき、開会式にて温かいお言葉をいただきました。参加者は受入学生13名､派遣予定学生11名、学友（帰国学生）11名、ロータリアン18名、事務局員5名の計58名となりました。

初日のセッションは3班に分かれてのワークショップ形式としました（写真①）。第1部として「受入学生が日本で生活する上での疑問・問題点」を受入学生が派遣予定学生に問い、日本語で議論する形式にしました。第2部は逆に派遣予定学生が受入学生に「派遣学生が海外で生活する上での疑問・不安」を問い、英語で議論しました。どちらも学友が進行と議論の援助を行いました。最後に各班で議論した内容を発表して参加者全員で共有しました。学友によるリードが上手で議論は大変盛り上がりました。日本人では気付かない日本の習慣や、日本にいるだけではわからない海外の文化などがわかり、学生にとっては有意義であったと思います。また各自の現在の語学力を知る上で良い機会にもなったと思います。

写真①

夕食後は学生個人の芸や技を披露する「エンターテーメントショー」を行い、受入学生、派遣予定学生全員が個性あふれるパフォーマンスを見せてくれました。楽器の演奏、ダンス、マジック、書道、着付け、絵描きなど多岐にわたり、あるロータリアンからは「今年のパフォーマンスは質が高い！」との感想をいただきました。その後、学生同士の懇親会があり、夜遅くまで楽しんでいたようです（写真②）。

写真②

翌日はエクスカーションのグループとオリエンテーションのグループで別行動となりました。受入学生と学友はエクスカーションとして岡山県の名所である倉敷美観地区、備中国分寺、瀬戸大橋などを巡り日本酒の酒蔵も見学しました（写真③・④）。楽しみながら日本の風景や文化に触れていただきました。派遣予定学生はホテルに残り引続きオリエンテーションを受けてもらいました。オリエンテーションは、特定NPO法人テラ・ルネッサンスの創設者でいらっしゃる鬼丸昌也先生を講師としてお招きし、これから海外に旅立つ学生に対し、本交換プログラムに参加する意義、目的意識について講演していただきました。先生のわかりやすくユーモア溢れる講演と、学生間による議論を深めながら、それぞれの学生が自分の目的を見つめ直していきました。最後に一人ひとりが自分の言葉でプログラム参加の目的を発表しました。私にはこれが決意表明にも聞こえ、大変頼もしく感じました。

写真③

写真④

この3地区合同オリエンテーションを主管することは私にとって大きなプレシャーでした。初めての試みもありましたので、大変不安でもありました。しかし、関係者皆さまの多大なご協力のおかげで、学生のたくさんの笑顔を見ることができました。改めまして皆さまに感謝申し上げます。

［グループ1］インターシティミーティング報告

国際ロータリー 第2710地区 2019-20年度 グループ1ガバナー補佐
堀川 国彦（下関北RC）

2019-20年度国際ロータリー第2710地区グループ１インターシティミーティング（IM）は、2月11日「建国記念の日」に下関市シーモールパレスにて、晝田眞三ガバナーご出席のもと、グループ全員登録にて開催されました。

今回のIMは、テーマを「ロータリーを活性化しよう！」と題し、第一部を講演／パネルディスカッション、第二部を懇親会として、主管クラブ下関北RC会員全員でお世話させて頂きました。

講演会には講師に国際ロータリー第2750地区 2018-19年度ガバナーの服部陽子様を東京よりお迎えし、５時間にわたるIMを通じて会員相互の親睦と知識を広め、多様性に富んだロータリー情報を伝え、奉仕の理想を勉強する場となりました。

講演

演題として「ロータリーの多様性と会員増強」について服部陽子パストガバナーが1時間、第2750地区の紹介から自クラブの現状説明。その後、「ロータリー設立と拡大・増強を支えたもの」「国際ロータリーは今」「戦略計画からビジョンを実現する為の行動計画」「ロータリークラブを活性化させるには」「規定審議会による会員資格に関する規定の変化」「会員基盤の多様性」「女性会員の入会とその占める割合」「どうして日本には女性会員が少ないか？」「また女性会員にとって魅力あるクラブとは？」「女性会員のいるクラブの工夫」について、さらに「ロータリーの多様性3つの点」として

1.ロータリーの理念、目的を理解し、規則を守った上での各々の個性、特色
2.自分と違うものを認め、尊重
3.お互いに交流し、活動し、影響し合う

活性化のポイントとして「若い世代とシニア世代がつながる」について講演されました。

最後にオーケストラになるクラブ作りを！ ロータリアンは生涯現役 ロータリークラブに傍観者はいない、「会長の振るタクトに合わせてひとり、ひとりが得意な楽器を奏でて、素晴らしいハーモニーを創りましょう！」と講演を締めくくられました。

パネルディスカッション

その後のパネルディスカッションでは、5クラブの会長エレクト・パスト会長の6名（男性4名・女性2名）で「これからのロータリー、女性会員と共に」をテーマに、グループ 1の女性会員が１割にも届かない現状をふまえ、あえて女性を取り上げる必要のない当たり前に女性のいるロータリークラブになりますようにと活発なディスカッションを展開し、将来女性ガバナーが現れる事を祈念して、パネルディスカッションを締めくくりました。

第二部の懇親会は、沖田パストガバナー得意のお話と乾杯音頭で懇親会がスタート、晝田ガバナー・沖田パストガバナー・服部パストガバナーを会員が囲む交流の場約1時間は、あっという間に過ぎ去り、定刻19時30分「手に手つないで」を熱唱、多くの皆様にご参加いただき、盛況のうちにすべてのプログラムを滞りなく終えることが出来ました。長い一日でした・・・

関係者各位に心より厚く御礼申し上げます。

懇親会ガバナーを囲んで

［グループ4］インターシティミーティング報告

国際ロータリー 第2710地区 2019-20年度 グループ4 ガバナー補佐
平田 万三志（光RC）

国際ロータリー第2710地区グループ4インターシティミーティング（IM）は2020年2月22日（土）に光市で開催しました。ご来賓に晝田眞三ガバナーはじめ岡田幹矢パストガバナー、石川良輿2022-23年度ガバナー予定者、伊賀訓之次年度ガバナー補佐の御臨席を賜わり、また、グループ内からは207名の登録を頂きました。

IMを企画するにあたり、実行委員会で2016、2019年の規定審議会あたりから大きくロータリーは変わって来ているのではないかと言う事でグループ内の意識調査をしてみようと言うことになりました。

『I do! We do? 200人に聞くロータリー』と名付けて、ロータリークラブに関する色々な質問を投げかけ、その答えを「Yes」「No」でお手持ちのスマートフォン、携帯電話で投票して頂き、投票結果をスクリーンにグラフで表示すると言うシステムで実施しました。コメンテーターとして、晝田ガバナー・岡田パストガバナー、伊賀次年度ガバナー補佐と私がその投票結果に対するコメントをして進行して行きました。

ロータリーは本当に『みんなに公平』だと感じるか？自信を持ってロータリアンと言えるか？など緩めの質問も

10問程度ありましたが、例会数の問題・メーキャップの延長の問題・職業分類人数制限撤廃の問題など今回の規定審議会でクラブの柔軟性が認められた事項についての質問が続き、コメンテーターのコメントを興味深く聞き入る会員が多く見られました。

また、永遠のテーマであるロータリーは『アイサーブ』に徹するべきか？の問いに60%の会員がアイサーブに徹するべきとの答えでした。

みんなでロータリーのことを考える、いい1日になったのではないかと思います。一人ひとりそれぞれのロータリーがあり、ロータリーの奥深さを垣間見たような気がしました。

最後の問いでガバナーになりたいか？の問いに半数以上の会員がなりたいと答えたのには驚きました。

懇親会に入り、オープニングにコンサートやテレビ等でご活躍中の盲目の世界的ピアニスト磯村靖幸さんに素晴らしい演奏をして頂きました。

その後、お酒も入りあちこちで他クラブとの交流も見られ和やかな時間が流れて行きました。

終りに、お忙しいなかご臨席を賜り、コメンテーターまでお勤めいただきましたご来賓の皆様、グループ4の会長・幹事はじめ会員の皆様、そして、IM実行委員会の皆様に心より感謝申し上げ、IMの報告とさせていただきます。

［グループ8］インターシティミーティング報告

国際ロータリー 第2710地区 2019-20年度 グループ8 ガバナー補佐
白島 洋司（東広島RC）

「未来へつなごう SDGsとロータリー」
～ロータリーは世界をつなぐ～

畫田ガバナーを始め、杉川ガバナーノミニー、多数のパストガバナー、グループ内ロータリアンの皆様に参加頂き、特別講演はJICA中国の大西・遠藤様、事例紹介は大紀産業㈱の安原様（岡山）、㈱東広島タクシーの山田様（東広島）にお願いし、2月1日（土）東広島で、開催いたしました。

今回のテーマを「未来へつなごう SDGsとロータリー」、副題を「ロータリーは世界をつなぐ」とさせて頂いたのは、今年度・マローニーRI会長の、「ロータリーの礎は『つながり』にありロータリーの奉仕を通じて、人々が手を取り合って、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。」の言葉や、ジョンF.ジャームRIパスト会長の「SDGsが目指す最終的な目標は、すべての人々が、平和、繁栄、安全、平等を享受できる世界の実現」、地区大会での立野純三RI会長代理の言葉や、ロータリーの友誌11月号の、マローニー会長の記事等、様々な場で、ロータリーにとって、「SDGsへの取り組み」が重要な課題として提示されていることを受けて決めました。

私は、企業が社会的責任（CSR）を果たすことが、ロータリーの「職業奉仕」そのものと考えています。CSRは、経営の根底に、倫理的観点から事業活動を進め、自主的（ボランタリー）に社会に貢献する責任を果たすこと。ロータリーの職業奉仕も、「倫理観に基づき、公益を念頭に事業を行い、事業そのもので社会貢献を果たすこと」に他なりません。企業の社会的責任の実践に、持続可能性への配慮（SDGsへの配慮・貢献）を組み込むことがこれからの企業の普遍的な基準となるでしょう。自社の事業が、SDGsの達成にどのように貢献できるか考え、行動に移す事こそ、「職業奉仕の実践」に他ならず、この3者は一体と思います。

世界に広がるロータリーは信頼のおける、多様なスペシャリストの集まりです。解決に仲間の力を求めること、助け合うことこそロータリーの力であり、「ロータリーは世界をつなぐ」と考えます。今後、経営者にとって、SDGsを理解し、事業推進メソッドに組み込むことが、経営の必須項目となるものと思い、国際協力機構（JICA）の方に国際的視野に立った、SDGs取り組みを、また、身近な、企業の方から、実際の取り組みを聞かせていただき、ロータリーの理念である、職業奉仕とCSR・SDGsを検証し、グローバルコミュニティとのつながり（国際協力）を視野に、ロータリーの「職業奉仕の実践」に繋げたい、そのような思いで、今回のIMを開催しました。

本会議の後は、全員で握手会を行い、西条のお酒を酌み交わし、懇親を深め、「手に手つないで」の歌声と、笑顔で散開出来ました。参加いただいた皆様に、感謝・感謝の気持ちを込めて、ご報告いたします。

国際ロータリー第2710地区　2019-20年度会員増減・出席率(2020年2月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初	当月		本年度	
			7/1	末日	内女性	入会	退会
1	長門	87.50	24	24	4	0	0
	下関	67.13	44	45	1	3	2
	下関中央	79.04	36	39	8	3	0
	下関東	74.44	61	59	3	0	2
	下関北	89.41	44	43	0	1	2
	下関西	84.22	33	35	0	4	2
	計	80.29	242	245	16	11	8
2	萩	92.60	48	50	1	4	2
	萩東	92.83	26	25	1	0	1
	美祢	80.06	24	24	1	1	1
	小野田	83.25	37	40	2	3	0
	宇部	91.43	44	45	2	2	1
	宇部東	64.98	13	13	2	0	0
	宇部西	88.50	50	50	3	1	1
	計	84.81	242	247	12	11	6
3	防府	92.40	59	60	1	2	1
	防府北	97.40	25	25	3	1	1
	防府南	73.75	38	42	6	4	0
	山口	87.00	50	51	4	3	2
	山口県央	87.72	31	31	1	0	0
	山口南	90.87	45	45	5	0	0
	計	88.19	248	254	20	10	4
4	光	88.80	52	49	0	0	3
	周南西	90.48	54	56	6	6	4
	徳山	98.54	43	46	1	5	2
	徳山セントラル	94.29	26	25	1	2	3
	徳山東	100.00	50	48	0	4	6
	計	94.42	225	224	8	17	18

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初	当月		本年度	
			7/1	末日	内女性	入会	退会
5	岩国	84.95	63	64	0	3	2
	岩国中央	87.18	37	37	3	1	1
	岩国西	89.02	57	57	4	3	3
	柳井	100.00	30	30	3	1	1
	柳井西	99.70	27	26	3	0	1
	計	92.17	214	214	13	8	8
6	広島	99.18	114	125	1	15	4
	広島安芸	96.43	43	45	3	2	0
	広島安佐	87.10	21	21	1	2	2
	広島東	99.42	114	118	8	6	2
	広島北	96.78	99	102	0	5	2
	広島陵北	98.26	54	56	3	2	0
	大竹	84.75	32	32	0	0	0
	計	94.56	477	499	16	32	10
7	広島中央	99.75	74	77	7	5	2
	広島廿日市	93.47	33	30	3	1	4
	広島城南	100.00	44	43	3	1	2
	広島南	100.00	89	92	0	5	2
	広島東南	100.00	100	103	14	9	6
	広島西南	99.58	67	71	3	5	1
	広島西	99.67	85	87	3	4	2
	計	98.92	492	503	33	30	19
8	江田島	89.20	18	18	0	0	0
	東広島	98.78	31	28	3	1	4
	東広島21	78.41	17	19	4	2	0
	呉	90.07	72	73	1	4	3
	呉東	82.58	35	36	1	2	1
	呉南	90.19	61	60	2	3	4
	西条	99.11	36	35	2	3	4
	計	89.76	270	269	13	15	16

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初	当月		本年度	
			7/1	末日	内女性	入会	退会
9	広島空港	81.86	29	29	3	0	0
	因島	91.59	19	18	0	0	1
	三原	90.06	59	57	0	1	3
	尾道	73.64	85	82	2	3	6
	尾道東	87.36	56	56	7	0	0
	瀬戸田	73.13	5	4	0	0	1
	竹原	90.11	25	19	3	0	6
	計	83.96	278	265	15	4	17
10	府中	94.33	27	26	2	1	2
	福山	95.67	84	81	0	4	7
	福山東	81.17	48	49	3	2	1
	福山丸之内	96.91	29	29	1	1	1
	鞆の浦	87.29	22	23	0	1	0
	福山REC2710※	91.62	19	19	3	1	1
	計	91.17	229	227	9	10	12
11	福山赤坂	78.10	52	53	6	3	2
	福山北	97.39	40	41	0	1	0
	福山南	84.03	51	59	3	8	0
	福山西	96.53	38	36	2	0	2
	松永	90.81	53	52	2	0	1
	計	89.37	234	241	13	12	5
12	吉舎	92.80	15	16	0	1	0
	三次	80.09	37	35	0	1	3
	三次中央	94.85	39	38	5	2	3
	庄原	90.31	34	34	4	0	0
	東城	85.14	18	18	1	0	0
	計	88.64	143	141	10	4	6
第2710地区計		89.44	3294	3329	178	164	129

※正式名称「福山ロータリーEクラブ2710」

文庫通信 No.381

現在ロータリー文庫は電子図書館を目指し、資料のデジタル化を推進しています。これまで著作権、個人情報等の関係で「公開」を控えていましたが、資料の収集、保管だけでなく、会員の皆様の一層の便宜を図るため、また、ご期待に沿うべく、7月1日よりID、パスワードを設定し、資料を公開することに決定しました。今回は2014年以来、精力的にデジタル化してきた資料の一部をご紹介いたします。

書名	著者/所属クラブ	発行年	頁	
ロータリー理解推進月間に因んで(例会スピーチ)	増田房二/京都山科RC D.265 PDG	2000	7p	※
回首原点 −ロータリーの心を尋ねて(その7)	佐古亮尊/大村北RC D.2740 PDG	2011	224p	※
新ロータリーを語ろう	久野薫/神戸東RC D.2680 PDG	2015	132p	※
夢を語り、現在(いま)を刷新 (ガバナー月信ロータリーコラム総集編)	刀根荘兵衛/敦賀RC D.2650 PDG	2017	67p	※
ロータリーの心をたずねて	富田英壽/甘木RC D.2700 PDG	2017	104p	※
ロータリーの職業奉仕の歩みと今後への提案	黒田正宏/八戸南 RC D.2830 PDG 元RI理事	2017	71p	※

■上記 ※印はデジタル化されている資料です。

《ロータリー文庫》
ロータリー文庫 検索
http://www.rotary-bunko.gr.jp

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL：(03) 3433-6456 FAX：(03) 3459-7506
開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日

国際ロータリー
第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323 E-mail:info@ri2710.com URL:http://ri2710/com/

新会員紹介

三浦 聖司
萩
2020年3月5日
電気事業

長縄 武昭
防府
2020年2月10日
信託銀行

中元 賢武
徳山東
2020年3月4日
外科医

数井 弘幸
柳井
2020年2月18日
電気事業

祢宜 隆
広島東
2020年2月5日
生命保険

石原 健
広島中央
2020年2月10日
都市開発

大下 達士
広島東南
2020年2月10日
ビルディング管理

林 亮介
広島東南
2020年2月10日
物流容器等パッケージ設計・製造販売

尾﨑 順也
広島西南
2020年2月4日
不動産仲介業

尾立 静泰
広島西南
2020年2月4日
建物サービス業

深谷 泰之
広島西南
2020年2月18日
旅行斡旋業

田中 芳昭
府中
2019年11月1日
ダイカスト製造

謹んで追悼の意を表します

【ロータリー歴】
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者
【職業分類】
事務器販売

2020年2月19日
ご逝去(享年77歳)
岩国西RC　故 **谷川 幸造** 殿

【ロータリー歴】
1995年5月8日入会 チャーターメンバー
2002-03年度 会長
第2回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
第4回米山功労者
【職業分類】
木製品製造販売

2020年2月27日
ご逝去(享年86歳)
広島廿日市RC　故 **中本 昭文** 殿

【ロータリー歴】
2011-12年度 副会長
2018-19年度 副会長
【職業分類】
整体師

2020年3月3日
ご逝去(享年74歳)
福山東RC　故 **金光 勝己** 殿